

a f t ó


2021年1月 発行

尼崎市立尼崎双星高等学校

図書館委員会

〔ギリシヤ語で 読みはアフト 意味は本〕





～ 読書のきっかけ ～

校長 谷 清 隆

TVのドラマや映画には多くの場合原作になる小説があります。ドラマ化や映画化されるということは、話題性やおもしろい、感動するといった理由があるはずです。ということは、その元となる原作もすばらしい作品であることが多いのではないのでしょうか。読書はおろか、TVや映画も見ないという人もいるかと思いますが、友達どうしの会話などで、話題のドラマや映画の話になることもあるでしょう。そんな時に話しについていけなくて少し寂しい思いをするかもしれません。まあ、インターネットで情報は得られますが、インターネットの情報はその記事を書いた人の個人の感想が多いので、自分の意見とは少しはずれるような気がします。見逃したドラマはインターネットで観ることができますが、利用するには料金は発生しますし、映画館に行くにもお金が必要です。その点、学校の図書館に行けば、お金をかけずに、原作を楽しむことができます。本校の図書館は話題の本を揃えていますし、読みたい本があれば、リクエストすることができます。話題の本、高校生に読んでほしい本が、わかりやすく陳列されています。

話題の本を読むことにより、話しの

輪に加わり、「その映画は観ていないけど、原作は読んだよ」等とコミュニケーションを広げることができるようになります。

アメリカのエモリー大学の研究では、ボランティアの学生に9夜連続で小説を読ませ、その後に行ったMRI検査で、左の側頭葉の脳神経のつながりが増加していることが分かった。そこは、言語の受け入れに関する領域。カナダのヨーク大学の心理学者、レイモンド・マーが分析した別のMRIでは、ストーリーを理解し、他人の考えや感情を理解しようとする脳の中では神経ネットワークの重なりが増えていた。つまり、フィクションを読むと、明らかに実際の人付き合いもうまくなる。スキャン技術の進歩により、読者が脳のコミュニケーションに関連する領域に与える影響を実際に見ることができるようになった。といった研究結果が報告されています。読書には期待以上の価値がありますね。

説明する力、コミュニケーションのきっかけや能力を身につけるために、皆さん、是非とも図書館に立ち寄ってください。読書を楽しみ、知識を身につけることで得られる収穫は大きく、素晴らしいものがありますよ

先生からの おすすめの本

『項羽と劉邦』(上)・(中)・(下)

司馬遼太郎/著 新潮文庫



「キングダム」という漫画を読んだ人はいますか？ この話は「キングダム」の後の世界、秦の始皇帝の死から始まります。圧倒的な武力を備えた史上最強の將軍「項羽」、田舎者で武力も知力も持たないが不思議な魅力で仲間を引き寄せ「劉邦」。2200年以上前の両者の戦いが生き生きと描かれ、古代中国の世界に引き込まれます。戦いに勝利し、新たな国家を築くのは・・・是非、読んでみてください。

大野 千尋 国語科

『外資系トップの英語力』

ISSコンサルティング/著 ダイヤモンド社



外資系企業においてグローバル環境で活躍しているビジネスリーダーの方たち自身が彼らの最低限のツールである英語を、仕事をしながらいかに学び続けてきたかという苦労話です。また、リーダーとして多様なバックグラウンドをもつ相手のことを理解しながら、自分の考えをわかりやすく伝えて、動かすだけでなく全力で困難な仕事にも挑戦し自らを高めようとする姿には、これからの生き方について参考になるのではないかと思います。

西原 理貴 英語科

『政治のことよくわからないまま 社会人になった人へ』(第4版)

池上彰/著 海竜社



御存じ池上彰の「政治」のことを解説された本です。たいへん分かりやすく、政治に全く関心を持たない人でも理解しやすく、読み終わると、何となく日本のことや世界のことも分かったようにしてくれる本です。特に日本のしくみが分かってくると、新聞やニュースなどにも今以上に目を向けられて、私たちが今何をすべきなのか、私たちの役割は何なのかを考えることができると思います。

政治に関心を持つ人がたくさん出てきて欲しいです。

梶 敏彦 商業科

『きみはうみ』

西 加奈子/著 スイッチ・パブリッシング



この本は、ふらっと立ち寄った本屋で表紙に惹かれて手に取った1冊です。読み終えた感想は「・・・ん？ どういうこと？」。作者の思いが知りたくて、何度も読み返しました。私たちは、夢を持った方がいいとか、恋をした方がいいとか、いつのまにか刷り込まれた考えを持ってしまふけれど、その人が生きていて、かかげがえのないその人の人生なのです。そんなことを伝えてくれる絵本です。(読んでみたい人は坂田まで！)

坂田 瑠璃 家庭科

『ザリガニの鳴くところ』

ディリア・オーエンズ/著 早川書房

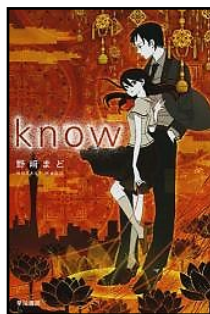


この本は、全米500万部突破のベストセラーの本です。著者の動物学の知識を惜しみなく発揮し、淡々とした文章でノンフィクションのような感覚に陥ります。気がつく主人公カイヤの気持ち加わり添っていきます。だんだん追いつめられて、もはやサスペンスかミステリーなのかとドキドキします。読み終えると純粋な恋愛小説だったのかなと思いました。ぜひ読んでみて下さい。

神崎 風香 数学科

『Know』

野崎まど/著 早川書房



昨年放映された、映画『HELLO WORLD』を知っていますか？ 京都を舞台とし、「情報」を題材とした世界を変えていく作品です。その映画『HELLO WORLD』の原点となっているのが、この『know』です。舞台は同じく京都で、また同じく「情報」を題材とした、近未来SF小説です。「知ること」とは何なのか、どういことなのか・・・

読み終わった後に、色々なことを考えさせられた作品です。

大西 総 電気科

『君たちはどう生きるか』

吉野源三郎/著 岩波書店




『君たちはどう生きるか』は、主人公のコペル君こと、本田潤一が中学校で様々な問題に対して、自分の頭で考えて生きているコペル君の等身大での日々の葛藤を描いた心の成長の物語です。是非、読んでみてください。

この作品は、2017年に漫画化されていたり、2021年に映画化されます。それも、是非見て下さい。

岡田 綾 地歴公民科

図書委員からの おすすめ本



『風に恋う』

額賀 滯/著 文藝春秋

茶園基は、かつて全国大会金賞という実績を持つ千間学院高校に入学し吹奏楽部に入部した。そして当時部長だった人がコーチとして戻ってきて1年生の基を突然部長に任命する。部員全員で全国大会を目指していく。吹奏楽感動長編！

「まだコンクールは終わっていない。全日本で戻って来い。」
「私、もちょっとコンクールに出たいし、吹奏楽やりたい」という言葉が印象に残りました。

やめると自分で決めていたことも、何かきっかけがあれば、その意見は変わる、と思いました。コンクールで悔しいと思ったのは、中学3年のときにしか思わなかったけど、他のみんなよりは悔しいとは思いませんでした。だから、自分にはない思いがたくさんありました。

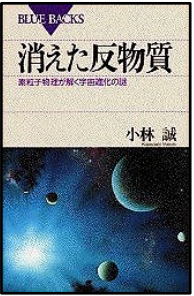
1年生で部長に任命される基は本当にすごいと思いました。部長と一緒に全国大会を目指して頑張っている姿がいいと思いました。

(1年 K. K)

『消えた反物質』

小林 誠/著 講談社

本書では、反物質の説明や新たな粒子、素粒子の発見などが紹介されています。粒子と反粒子の数の差は、標準的なビッグ・バン理論で推定してみると、その非対称度は10億分の1程度です。粒子は反粒子より、たったの10億個に1個くらいの差が多かったため、この世界に物質が満ちているということなので、本当に奇跡だな、と思いました。とても難しいですが、分かりやすく書いているため理解できる内容もありました。基本的な素粒子の情報や“バリオン数非保存”みたいな難しそうな単語、なぜ宇宙は物質でできているか、などの興味深い話題を知ることができたのでよかったです。他にも、たくさんの面白いものがあるので、読んでください。(1年 Y. K)





『推し、燃ゆ』

宇佐見 りん/著 河出書房新社

学校生活にも家庭にもなじめない女子高生あかりの唯一の心の支えは、男性アイドルグループの一員を「推し」として応援すること。お金も時間も応援に費やす日々の中、“推しが燃えた。ファンを殴ったらしい。まだ、詳細は何ひとつわかっていない。それは、一晩で急速に炎上した。”

「推しは命にかかわるからね」という言葉は、何かを真剣に好きになったことのある人、生きづらさを抱えている人の心に深く突き刺さる。“生まれてきてくれてありがとう、とか、チケット当たなくて死んだ、とか、目が合ったから結婚だ、とか、仰々しい物言いをする人は多い。調子のいいときばかり結婚とか言うのも嫌だし、<病めるときも健やかなるときも推しを推す>と書き込んだ。”(本文より)

この小説では、推しがいる人が共感できるどころ、推しがいない人も共感できるどころ、と人間らしさがとても出ていて、自分の身にも起こるかもしれない内容なのです。

(1年 I. N)

『桐島、部活やめるってよ』


朝井 リョウ/著 集英社

バレー部の「頼れるキャプテン」桐島が突然部活をやめた。それがきっかけで、田舎の県立高校に通う5人の生活に、小さな波紋が広がり、変化していく物語。

物語に繋がりはあるも、オムニバス形式なので、長編小説があまり得意ではない方に適しています。

今の高校生にはぜひ読んでもらいたいです。

(1年 A. O)



『君の臍臓をたべたい』

住野よる/著 双葉社

高校生の男の子がクラスメイトの日記『共病文庫』を拾います。そこには余命がもう短いと書かれています。残りの日々を一緒に過ごしていきます。「一日の価値は全部一緒」という言葉が心に残りました。

病気であろうとなかろうと人はいつ死ぬかわかりません。だから、1日をただ過ごすのではなく、後悔しないように毎日生きることが大切だと思いました。自分の生き方を考えさせられるとても良い本で、最後には予想していないラストになっているので読んでみてください。(1年 K. K)



主人公と臍臓の病気になり、余命が少ない女の子が残りの時間を過ごしていく話。この話を讀んだとき、書名の「君の臍臓がたべたい」の意味がわからなかったけれど、この話の最後のところで、なぜこの題名になったのかわかり、とても感動しました。

ぜひ、この本を読んで、感動してほしいと思います。

(2年 H. H)

『天久鷹央の推理カルテⅡ』

知念 実希人/著
新潮社



問題疾患者が毎日送り込まれる“統括診断部”、荒唐無稽な事件、その裏にある“真犯人”、そんな病気を破天荒な天才女医・天久鷹央が“診断”で解決する痛快な物語です。

「みんな無力ですよ。でもたぶん、医者は自分が無力であることを知らないといけないんだと思います。」という言葉は印象に残りました。どんな力があっても大切な、モノの“死”は避けられないのだと思いました。

ある意味、人を救う仕事に努めている人は人の“死”をたくさん見ているのではないかと思います。それがどんなに極悪非道な犯罪者でも、“死”を見るのは、とてもつらく、酷であると思います。作中でも難病とずっと戦ってきた男の子が大好きな“子供の先生”に見守られながら息を引き取りました。その時の気持ちを考えながら読んでみてください。

(1年 R. N)

『神様の御用人』

浅葉 なつ/著
KADOKAWA



何の能力もない普通の人間が神のパシリなのか、助っ人なのか、をする物語。神様たちの御用を聞いて回る人間“御用人”。ある日突然、狐神からその役目を命じられたフリーターの良彦は、古事記や民話に登場する神々に振り回される。

「神は人の敬いによって威を増し、人は神の徳によって運を添う」

ごく普通の人間が、秘めた願いを持った神様たちにできることは！？

シリアスな感じはあまりないので、すごく読みやすい本です。物語をイメージして読むと、モフモフの狐がすごくかわいいです。

(1年 S. S)

『ゲド戦記』

アーシュラ・K・ル＝グウィン/作

岩波書店



ありとあらゆるものに「真の名」がついている「アースシー」という世界で繰り広げられるファンタジー小説。

全部で6冊あります。アースシーのゴント島に生まれた少年ゲドは、自分に並はずれた力がそなわっているのを知り、真の魔法を学ぶためロークの学院に入る。魔法を学んで得意になった少年ゲドは、おそろしい〈影〉を呼び出してしまふ。

感動した言葉 —

「ことばは沈黙に、光は闇に、生は死の中にこそあるものなれ。飛翔せるタカの虚空にこそ輝ける如くに」

僕は、この作品をジブリ映画で知ってとても感動しました。特にあらゆるものに「真の名」があることや魔法が使えたり、アースシーという実際にはない場所があったりすることなど、ファンタジーならではの世界観でとてもおもしろかったです。小説でも映画ではふれられてなかった話など、よりこの世界観を味わい、楽しむことができると思うので、ぜひ読んでみてください。

(1年 S. M)



『家庭教室』

伊東歌詞太郎/著
KADOKAWA

家庭教師をしている大学生・灰原 巧を主人公に、彼が家庭教師として訪れた家族や子供が抱える問題に真摯に向かい合い、解決していく姿をオムニバス構成で描いた作品です。

10代を中心に多くの読者から共感を集めています。

「好きなことができなくなっちゃうんだ。

だから死ぬのって本当に怖い。」

「今好きなことも、未来にある私が好きになるはずのことも、私ごと一緒に死んじゃうんだ。

先生、死ぬってそういうことじゃない？」

いろいろな家庭の事情や悩みを抱えた子供たちと向き合へて問題を解決！というストーリーがたまにありました。特に主人公の灰原 巧の行動力に何度も驚かされました。部屋から出てこなくなった子供の家の屋根にのぼって待ち伏せしたり、浮気相手の女の顔に平手打ちしたりなど、自分が同じ立場だったら、絶対にしない行動をしていて、それだけ相手の子のことを考えているから出来る行動だと思いました。とても面白く感動するので、ぜひ読んでみてください！(1年 R. U)

『青空のむこう』 アレックス・シアラー/著 求竜堂

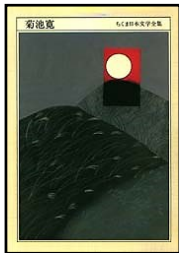


突然の事故で死んでしまった少年ハリーは、ある時、「やり残したことがあるから」と、「青空のむこう」から地上に降りてきた。

登場人物が人間味があつてとても共感できた。感動的なラストの展開には涙した。後悔ないように過ごすことの大切さ、生きている今が大切であることを教えてくれた。この本に出会えて本当によかったです。

ぜひ、読んでください。必ず感動します。

(1年 H. Y)



『恩讐の彼方に』

菊池寛/著 筑摩書房

主人の妾と禁断の恋に落ちてしまった物語の主人公・市九郎。処罰を受ける筈が、死にたくない一心で主人を殺し、その妾と駆け落ちする。逃亡先では追いはぎなどをして生計を立てるが、やがて罪の重さに圧され、女の元を去る。

罪ほろぼしのために市九郎がとった行動とは・・・

印象に残った場面は、殺された主人の息子が仇討ちに来たとき、市九郎が首を差し出しているにも関わらず、村の人がかばったところ。最初はバカにしていたのに、信頼を得たのだ、と思った。

大衆小説家・菊池寛の『真珠夫人』と並ぶ代表作です。主人公・市九郎の心理描写が鮮明で、読んでいる内に巻き込まれてしまうような感覚になります。長編作品でないのも、普段、小説を読まない人、部活や勉強で忙しい人も、是非よんでみてください！ 他の作品もオススメです。
(1年 A. T)

『ママが生きた証』

小松武幸/著 講談社



妊娠5か月のときに、余命1年・ステージ4の乳がんと宣告された、お母さんと家族の物語です。

「自分の命」を優先すべきか「新しい命」はどうなるのか、究極の選択を迫られる夫婦。

だが、アメリカで報告例があった治療と出産を同時に進めるリスク覚悟の療法を、日本ではじめて受けることにより、副作用に悩まされながらも、無事男児を出産した。しかし、病魔はいっこうに衰えない。さらなる肺、脳への転移と治療法をめぐる対立する妻と夫、病院と家族。

誰が読んでも心うたれる お話。生命の尊さも改めて感じることでできる本なので、ぜひ一度読んでみてください。(2年 A. N)

『青空エール』

下川 香苗/著 集英社



野球をしている大介と吹奏楽部に入ったつばさが入学式に次の日に交わした約束を果たすために互いに努力する話。

つばさは吹奏楽初心者でトランペットを吹くが、上手く音を出せないけど、その音を聞いた大介が「あれ聞くと、やる気が出る。俺もまげらんねえ」と言ったところが心に残った。

僕も主人公の大介と同じ野球をしていて夏の大会で吹奏楽部に応援してもらったことがあるので、応援されてプレーする気持ちもわかる本です。主人公が2人いるので、どちらの視点からも楽しめます。

(2年 N. T)

『青春18きっぷで愉しむ鉄道の旅』

青春18きっぷ探検隊/編 小学館



「青春18きっぷ」デビューを目指す人のために、「青春18きっぷ」使用上のルールや、どう使えばどのくらいお得なのかといった基礎知識から、夜行列車を使った長距離旅行のノウハウまでを、わかりやすく解説。18きっぷの基本的なルールやおすすめルートが分かりやすく書かれていて、読むだけで、青春18きっぷを使って、どこか旅行に行きたくなります。とは言っても、2004年の本なので、今はない臨時列車や特例もあり、そこもとてもおもしろいです。

勉強に飽きて、どこかに行きたくなった時に、ぜひ、読んでください。

(2年 T. A)

『余命10年』 小坂流加/著 文芸社



20歳の時に不治の病となり「余命10年」という現実を突きつけられた茉莉は学業も就職も恋愛もすべて諦めて10年後の「その日」を待つ。恋愛だけはしてはいけないと誓っていたのに、愛する人が現れてしまう。

あと10年しか生きられないとしたら、あなたは何をしますか。長いと思えば悠々と構えられますか。短いと思えば、駆け出しますか。

あと10年しか生きられないと宣告されたならば、あなたは次の瞬間、何をしますか。

この本の中には大事なことが沢山入っていて人間がどうすればひとときを味わって生きられるか、そんなことを考えさせられる話でした。病気になった主人公は周りのみんなのことをいつもしっかり見ていて、ものすごく優しい心の持ち主だったんだと思いました。人が繋がり合うことの難しさや人生に楽な場面などそうそうなく、誰もが困難を抱えて生きていることを感じました。

(1年 S. K)

遺伝の影響で自分の余命が10年しかないことを知った少女が絶望から希望を見つけて生きようとする話。

「わたしは大丈夫。あと10年 十分だよ。」

人生なんて。楽しいってこういうこと。

したいこととしての感覚。誰にも流されない感触。

人生楽しんだ者からだもの！」

茉莉と和人がわかれた後、苦しくてもう読みたいくないと思ってしまった。でも見届けたいいけないと思って何度も本を閉じて深呼吸をしながら一文字一文字丁寧に読みました。茉莉は強くてすごいと簡単に言うてはいけない、真の強さをもっていると思った。小坂さんも、できるだけひとりぼっちになり、亡くなったんだろうか。今まで出会ってきた人、これから出会う人と、別れる時は絶対くるんだな、僕はどのような別れ方をしたいだろう。どういう生き方をしたいだろうかと考えさせられる本でした。

(2年 S. I)

『さいとう市立さいとう高校野球部』



あさのあつこ/著 講談社

野球経験のない監督にパティシエなみの腕をもつ副キャプテン。ランニング中に一首詠み、ミーティングは本音で語って全員大感動。『バッテリー』の著者が贈る新しい野球小説のかたち。私は元々『バッテリー』を読んでいて、気になって、この本を借りて読んでみた。最初の文面は、自分語りで、とても良い感じだった。「野球のことは知らないけど、強くなる方法なら、よく知ってるよ」ロシア人の血をひくイケメン高校生の山田勇作。中学校では野球部に所属していたが、誤あって今は帰宅部で自由を満喫していた。ある放課後、どうやっても似合わないユニフォーム姿の男・鈴木が現れ、勇作を野球部に勧誘する。鈴木先生と出会った山田のシーンは、これから始まる物語の序章だ。登場人物の関係性がたくさんあり、とてもよかった。野球が好きなのはもちろん、読書が好きなのは、あさのあつこのファンの人、また、それ以外の人にも読んでほしいです。(2年 H. T)

『ハイパーハードボイルドグルメレポート』

上出 遼平/著 朝日新聞出版



テレビ東京の番組が書籍化したものです。世界各地の「ヤバい」現場の食事を撮影していくというドキュメンタリー番組です。テレビでは放送できなかったシーンや取材の裏側等も書かれています。

どこの国の人たちも「食べてみて」と言い、貴重な食べ物をカメラマンにわけてくれます。日本と違い、今日ご飯が食べられるか、今日生きていけるか分からない状況なのにもかかわらず、悔しむことなく食べ物をわける姿にとても感動しました。

この本のジャンルは料理本です。番組でも「これはグルメ番組です。」と強く主張しています。そして本でもテレビでも「食べる＝生きる」と言っています。この本は、ただ貧しい国の人たちの生活を伝えるのではなく、食べ物を通して、その人の命を伝えているのではないかと思います。本の中には写真もあり、彼らが住むゴミ山や廃墟などが写っています。基地で生きる人たちの目は悲しそうでしたが、とても真つすぐで引きこまれました。

(2年 A. T)

『100日間あふれるほどの「好き」を教えてください』



永良サチ/著 スターツ出版

他人に無関心な女子高生・海月は、ある日、自分の命の終わりを知ってしまう。生きる意味がないと思っていたとき、同級生に佐原と出会う。

せつないけど、心があたたまる、2人の恋のお話。

私は、表紙のイラストに惹かれて、この本を手に取りました。読んでみると、登場人物の感情の動きが細かく描かれていておもしろいです。主人公の海月の心がだんだんあたたかいものになっていくのは、見どころなので、ぜひ、読んでみてください！

(2年 T. H)

『表参道高校合唱部』



桑畑絹子/著 学研プラス

香川県から両親の仲を元に戻すために東京にやってきた香川真琴。かつて合唱の名門校であった表参道高校に転校し、大好きな合唱をしようとするのだが、合唱部は廃部寸前で……。歌の力でトラブルを乗り越えていきます。

「地球にはハーモニーが必要である」

「歌には、人と人をつなぐ力があるんだから。」

ただし条件が一つ。歌い手がそれを信じて歌うこと」など、素敵な言葉に感動しますが、一番印象に残った言葉は「私は、がんばるなら、好きなことでがんばりたいんだ」です。

合唱を通して、沢山の人がつながり、様々なトラブルを乗り越えていきます。歌の力が、人々の心を動かし、力や勇気を与えてくれて、自分に気持ちに素直になることができ、1歩をふみ出すことができた人が沢山います。香川真琴に良い影響を受けて、周りの人が成長していく姿に、とても心を打たれます。自分の好きなことを頑張るところに、私もこの作品のように頑張ろうと思うことができます。時には、すれ違いや喧嘩したりすることもあります。合唱でなによりも大切な、皆の心を一つにすることができるようになります。合唱部の部員だけでなく、周りの先生や家族にも勇気などを与えられる、歌の力はすごいなと実感しました。

(2年 M. T)

『ねずみくんのチョコッキ』



なかえよしを/作 上野紀子/絵 ポプラ社

ねずみくんはお母さんが編んでくれた、赤いチョコッキを友達にかしていきます。「ちよっときせてよ」いろんな友達がやってきて、チョコッキを着てみます。あらあらチョコッキがどんどんのびていく。最後にゾウさんがやってきて「ちよっとキツイ」

「すこしきついがあうかな？」ということばが

ものすごくなつかしい。

皆さんも、この本を幼いころ、読んだことがあるのではないのでしょうか。これを読んで、なつかしい気分になりましょう。

図書館には、まだまだいろんな絵本があります。

ぜひ、来てみてください。(2年 R. M)

『Another』 綾辻行人/著

KADOKAWA



Another 上・下

とある中学校に転校した
榊原が編入した「3年3組」
の、とある秘密に巻き込ま
れていく話です。周囲のキ
ャクターも一人一人魅力
があり読みごたえがありま
す。

ぜひ最後まで読んでほしい作品です。

3年3組を取り巻く異変の真実、榊原の前に現れる「ミサキ」
の存在、3年3組の過去の出来事など、すべての点がつなが
るラストは何ともいえぬ衝撃で本当に魅力的です。

作者の綾辻行人さんの作品はほとんど魅力的なものが多数あり、代表作としては「十角館の殺人」「暗黒館の殺人」などで、中でも、この「Another」は綾辻さんの代表作とも言える作品で、漫画化、アニメ化、そして山崎賢人さん主演で映画化されており、大変人気の作品です。しかし、大変グロテスクな描写が多々あり、そういうものが苦手な方は本当に読めなくなる作品です。ただ、そのグロテスク、ホラー演出をはるかに超える衝撃の真実がラストに待っているの、一度目を通して見て欲しいと思っています。

現在、本編上下巻、アナザーエピソードの「アナザーエピソードS」そして2020年に発売された「アナザー2001」があるので、本編読んだ後でも楽しめると思います。

(3年 M. I)



Another
エピソードS



Another
2001

『ソードアート・オンラインプログレッシブ』

川原 礫/著 KADOKAWA



ーゾートアート・オンラインー

それはリリース日にゲーム内での死=現実での死というデスゲームと化したフルダイブ型VRMMO。この本はその始まりの物語。

印象に残った言葉は・・・

「最初の街の宿屋に閉じこもって、ゆっくり腐っていくくらいなら

最後の瞬間まで自分のままでいたい。」

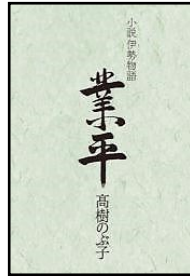
2021年に作中の世界線に合わせて上映が決まったため、この本を選ばせて頂きました。

死が間近となった世界での主人公の生き様をお楽しみください。

(3年 S. F)

『小説伊勢物語 業平』

高樹のぶ子/著 日本経済新聞出版本部



百二十五章段からなる伊勢物語を現代語訳ではなく小説化した作品です。古典の授業で学ぶ初冠から伊勢物語の主人公だとされる在原業平の生涯を書いたものです。

学校の授業で習った初冠の現代語訳と違うような訳でこんな解釈の仕方もあるのかと思いました。

当時の文化や、恋愛模様が読めて、とてもおもしろいです。「昔男ありけり」

の「男」が次から次へいろんな女の人と恋をしていく、今ではありえないことですが、当時では良くあったのだろうという事がこの本から読み取れ、現代と当時の違いを感じることが出来ます。

古典文学は苦手に感じている人が多くと思いますが、この本は小説化されており、登場人物の感情などが、現代語訳などより、わかりやすく読みやすくなっています。

(3年 H. H)

『蜜蜂のデザート』

拓未 司/著 宝島社



この本は神戸でビストロを営む柴山幸太とパティシエの坂本祐樹が、「ヌーヴェル」「コウベ・ヤマズギ」、そして幸太が経営する「ビストロ・コウタ」と、連続して起きる食中毒事件を解決していく物語です。

まず最初に感じたことは、料理、スイーツ、一つ一つの表現がまる

でそこにあり、今、自分も味わっているように感じました。例えば、主人公達がスフレを食べるときの「カリッと焼けた表面は、なんの抵抗もなくふんわりと破れ、甘い湯気が姿を現した。とろとろに仕上げられている中身を崩した生地・・・」というところなどです。

「食とは、人間の命でもあるのだ。命を扱っているということを常に認識し、安全性を第一に考えて日々の料理を行わなければならないのだ。」という言葉が心に残った。

「ミステリーって なんだか難しそうなイメージがある」「今まで挿絵のない本とか読んだことない」という人にも読みやすいと思います。

シェフ、パティシエ、輝かしいイメージのある食の世界に潜む食中毒事件、そして、思わず美味しいもの食べた時のような感覚を読んで体験してみてください。

(3年 A. Y)

<2019年~2020年>

図書館貸出ランキング・トップ10

文 学

- 1位** 『ノーゲーム・ノーライフ』 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』
(14回)
- 2位** 『意味が分かると震える話』
(13回)
- 3位** 『そして、バトンは渡された』 『希望の糸』 『ムゲンのi』 『青空のむこう』
(12回)
- 4位** 『生きてさえいれば』 『家庭教室』 『記憶屋』 『Re:ゼロから始める異世界生活』
(11回)
- 5位** 『桜のような僕の恋人』 『沈黙のパレード』 『アーモンド』
(10回) 『medium:霊媒探偵城塚翡翠』 『願いを叶える雑貨店黄昏堂』
- 6位** 『人間失格』 『氷菓』 『君は月夜に光輝く』 『マスカレード・ナイト』
(9回) 『ソードアート・オンライン』 『小説 天気の子』 『線は、僕を描く』
『ノッキンオン・ロックドドア』 『クスノキの番人』 『ツナグ 想い人の心得』
- 7位** 『オレたちバブル入行組』 『幼女戦記』 『宝石商リチャード氏の謎鑑定』
(8回) 『最後の医者は雨上がりの空に君を願う』 『余命10年』 『ラストレター』
『心が聞こえるわたしと、音のないきみの物語』 『小説の神様』 『流浪の月』
- 8位** 『化物語』 『燃えよ剣』 『そして誰もいなくなった』 『青空エール』 『忍物語』
(7回) 『危険なビーナス』 『罪の声』 『神様の御用人』 『紅いろ図書館のへびおとこ』
『後宮の鳥』 『夢をかなえるゾウ 4』 『蜘蛛ですが、なにか?』 『人魚の眠る家』
- 9位** 『落日』 『素敵な日本人』 『コンビニ人間』 『世界は「」で満ちている』
(6回) 『いなくなれ、群青』 『恋する寄生虫』 『かがみの孤城』 『本と鍵の季節』
- 10位** 『トラペジウム』 『風に恋う』 『何様』 『キボウのミライ』 『白銀の墟 玄の月』
(5回) 『青の王』 『どうしても生きています』 『尼崎ストロベリー』 『晴れ、時々くらげを呼ぶ』

哲学・心理学・歴史・社会科学

- 1位** 『私は私のままで生きることにした』 (キム・スヒョン/著 ワニブックス)
- 2位** 『本当の「頭のよさ」って何だろう:勉強と人生に役立つ、一生使えるものの考え方』 (齋藤 孝/著 成文堂)
『大切なことに気づく365日 名言の旅』 (WRITES PUBLISHING/編 ライツ社)
- 3位** 『THE LAST GIRL:イスラム国に囚われ、闘い続ける女性の物語』 (ナディア・ムラド/著 東洋館)
『NYの人気セラピストが教える自分で心を手当てする方法』 (ガイ・ウィンチ/著 かんき出版)
- 話題の本: 『君たちはどう生きるか』 『友だち幻想』 『AI vs 教科書が読めない子供たち』
『10年後の仕事図鑑』 『ケーキの切れない非行少年たち』 『「空気」を読んでも従わない』

..... 教育・進路 その他

- 『最短の時間で最大の成果を手に入れる超効率的勉強法』 『日本史の勉強法をはじめからていねいに』
『入試に出る漢字と語彙2400』 『古典文法をはじめからていねいに』
『大学入試 ゴロで覚える古文単語』 『心を動かす無敵の文章術』
『入試現代文へのアクセス 基本編』 『勉強大全:ひとりひとりにフィットする1からの勉強法』
『漢字学習ステップ』 『QuizKnock Lab:東大流!本気の自由研究で新発見』
『英単語の語源図鑑』 『水上ノート:東大NO.1頭脳の究極「知力アップ」テキスト』

図書館利用の統計

| | 開館日数 | 利用者数 | 総貸出冊数 | リクエスト | パソコン 利用 |
|-----|-----------------|-------|-------|-------|------------|
| 4月 | 新型コロナ感染予防 休校・閉館 | | | | |
| 5月 | 新型コロナ感染予防 休校・閉館 | | | | |
| 6月 | 21日 | 616人 | 270冊 | 4件 | 4件 |
| 7月 | 20日 | 360人 | 409冊 | 3件 | 3件 |
| 8月 | 8日 | 144人 | 67冊 | 5件 | 3件 |
| 9月 | 20日 | 285人 | 265冊 | 2件 | 2件 |
| 10月 | 22日 | 703人 | 250冊 | 3件 | 3件 |
| 11月 | 19日 | 648人 | 278冊 | 3件 | 3件 |
| 12月 | 17日 | 288人 | 243冊 | 2件 | 2件 |
| 合計 | 148日 | 3044人 | 1782冊 | 22件 | 20件 |

学年別貸出統計

| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | |
|-----|------|------|------|-------|
| 4月 | | | | |
| 5月 | | | | |
| 6月 | 144冊 | 40冊 | 34冊 | 218冊 |
| 7月 | 204冊 | 90冊 | 61冊 | 355冊 |
| 8月 | 19冊 | 13冊 | 15冊 | 47冊 |
| 9月 | 76冊 | 55冊 | 78冊 | 209冊 |
| 10月 | 93冊 | 46冊 | 65冊 | 204冊 |
| 11月 | 94冊 | 59冊 | 68冊 | 221冊 |
| 12月 | 69冊 | 64冊 | 56冊 | 189冊 |
| 合計 | 699冊 | 367冊 | 377冊 | 1443冊 |

【授業での利用】 11月 国語総合2回

- ・各考査前、考査中での自主学習利用がありました。
- ・学校説明会では、多数の中学生・保護者が見学に来られました。

図書委員会 活動報告

三役（委員長、副委員長、書記）と1年生の代表者

- ・委員会のまとめ・企画
- ・図書館報『aftó』の発行

2020年 6月 図書委員会（第1回） 三役選出、1年生代表選出、当番決定
今年度の目標決定

「本を身近に *Let's try!* 自分を変える本と出会おう！」

昼休み・放課後の当番開始

9月 図書委員会（第2回） 体育祭の役割分担決め、当番決め

三役と1年生代表会 ・図書館報『aftó』の原稿内容決定・役割分担・依頼

10月 三役と1年生代表会 ・図書館報『aftó』の原稿回収
・読書週間企画「読書でビンゴ！」 実施
・オリジナルブックカバー 作成
・オリジナルクリアしおり 作成

11月 三役と1年生代表会 ・プレゼント企画の打ち合わせ、準備

12月 三役と1年生代表会 ・プレゼント企画（雑誌、付録のプレゼント実施）
・図書館報『aftó』の校正、編集

2021年 1月 図書館報『aftó』の発行